

経営発達支援事業 外部評価委員会報告書

1. 外部評価委員会の目的

当所では、令和4年3月に国（経済産業省）より認定されました「経営発達支援計画」を基盤として、地域の小規模事業者の持続的発展を目指すため、事業者に寄り添った伴走型の経営支援を推進しております。

国の指針として、年に一度、外部評価委員による事業評価を行い、経営支援の内容等について改善を図り、小規模事業者にとってより効果のある伴走支援を実施していくことと定められております。

当所の「経営発達支援計画」のこれまでの事業について実績報告し、今後の効果的な経営支援方法や改善点等について協議することを目的としています。

2. 外部評価委員会開催日

日時： 令和7年3月3日（月）14時～16時

場所： 信州中野商工会議所 多目的ホール

3. 外部評価委員会出席者

◆信州中野商工会議所

専務理事	池田喜芳
経営支援課課長	海野 健
中小企業相談所長	山田顕弘
経営支援課係長	有賀雅幸
経営支援課	中村さとみ

◆中野市経済部商工観光課

商工観光課長	小林 浩
商工観光課課長補佐	池田直樹
商工観光課主査	綿貫太郎

◆外部評価委員（3名）

株式会社エイチ・エーエル 代表取締役	田村嘉康 様
北信エリア商工会議所広域専門指導員	押金明人 様
日本政策金融公庫長野支店 国民生活事業事業統括	斎藤健一 様

4. 経営発達支援事業の評価を行なう項目

1 地域の経済動向調査に関すること

各種動向調査や計画的な訪問調査等により地域経済動向を調査し、その調査結果を分析することで地域経済の実態を把握し、情報のデータベース化を行う。

- (ア) 地域の経済動向分析
- (イ) 中野市製造業景況調査

2 経営状況の分析に関すること

小規模事業者の経営状況の調査・分析を行い、経営分析データを蓄積する。巡回訪問・窓口相談、セミナー開催時などに事業者へ周知する。また、経営分析では、財務分析と非財務分析の多面的な分析を行い、事業者の経営課題などを顕在化させる。

3 事業計画策定支援に関すること

創業者や小規模事業者に対して、需要動向を見据えた事業計画策定の支援を行う。経営分析を行った事業者への案内や事業計画策定セミナーを通じて事業計画策定の意義や必要性を周知し事業計画策定を支援する。

- (ア) DX 推進セミナーの開催・IT 専門家派遣の実施
- (イ) 事業計画策定支援

4 事業計画策定後の実施支援に関すること

四半期ごとにフォローアップを実施。すべての事業計画に対し、伴走型で支援することで、計画の成果をあげることを目指す。

5 需要動向調査に関すること

需要動向に関する情報を収集し、小規模事業者へ情報提供できる環境を整える。小規模事業者の商品の需要動向調査として、地元客・バイヤー向けの商品調査機会を提供し、売れる商品づくりを支援する。

- (ア) 地元客向け商品調査
- (イ) バイヤー向け商品調

6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

売上拡大効果（新たな需要獲得効果）が高い取組の支援をする。特に、小規模事業者の多くは IT の活用が不十分であることから、ネットショップの構築支援や「なっちよまーと」を活用した販路開拓といった IT を活用した販路開拓支援を新たに実施する。

- (ア) 展示会・商談会の出展支援
- (イ) 産業フェア in 信州 (BtoB)

(ウ) うまし逸品個別商談会 (BtoB)

(エ) ネットショップの構築支援 (BtoC)

(オ) 「なっちょまーと」を活用した販路開拓 (BtoC)

5. 外部評価委員による評価基準

- A：計画目標を達成することができた 5点
B：計画目標を概ね達成することができた 4点
C：計画目標を半分程度しか達成することができなかった 3点
D：計画目標をほとんど達成することができなかった 2点
E：未実施 1点

※改善が必要な事項など意見については評価シートに記載する

6. 外部評価委員による評価結果

項目等	意見・改善事項等	評価
1. 地域の経済動向調査に関すること	<ul style="list-style-type: none">①地域の経済動向分析は、未公表、②中野市製造業景況調査は目標達成。地域データを蓄積し、事業者支援に活用いただきたい。RESASはマクロ情報になりますので、個別企業ごとに、マクロ情報の利活用を伝えられると良い成果に繋がるかと思えます。	4.6
2. 経営状況の分析に関すること	<ul style="list-style-type: none">ローカルベンチマークは勉強会を重ね、各人の分析能力は向上しているが、目標は未達。毎年事業者分析を継続させ、目標をクリアしていただきたい。試行錯誤をしながら事業を進めてられることが見受けられました。引き続き、掘り起こしと支援実施を続けて頂ければと思います。ローカルベンチマークについては、会員企業の来所時など、あらゆる機会で周知すると回答が増えると思えます。	4.0
3. 事業計画策定支援に関すること	<ul style="list-style-type: none">事業計画策定事業者数は目標を上回る実績を上げた。とくに内容の深掘りができている事業者もある。施策の件数に囚われず、事業者の事業計画を支援いただければと思います。創業計画の策定支援実績が増えていることは素晴らしいと思えます。	4.6

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定後の実施支援は全ての項目で目標を上回る実績を上げた。事業者ごとに重要点を絞るなどして、継続的に支援していただきたい。 ・ 各施策後のフォローアップが今後の伴走支援においても、非常に重要だと思います。 ・ 一社あたりの支援回数が多いことは伴走支援ができていくことの表れかだと思います。 	5.0
5. 需要動向調査に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査項目は2項目とも目標をクリア。調査結果を事業者のフォローアップや情報共有に活用いただきたい。 ・ 毎年、おつかれさまです。調査後の報告書を事業者にフィードバックし商品改良に役立ててもらえると良いかと思えます。 ・ 個別商談会に同席してサポートしたことは、経営者にとって心強かったと思えます。 ・ 商品調査については、調査対象先を探すのが困難であれば、同一客に複数回実施する方法もあると思えます。 	5.0
6. 新たな需要に開拓に寄与する事業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「商談会の出展」については目標をクリア。「なっちょマーケット」は効果なしと判断したようだが、「ネットショップの構築」については意欲的な事業者に対し、支援を強化していただきたい。 ・ 展示会出展社は、経営分析・事業計画策定事業者でしょうか。できれば、戦略性のある事業者選定をお願いいたします。 ・ 無印良品のイベント参加については、伴走支援の良好事例だと思います。経営者の意識の変革にまで至ったことは大いに評価できます。 ・ ECサイト構築は、創業者もターゲットになると思えます。 	4.3

※点数は外部評価委員3名の評価を平均して算出